

小学教員免許取得可能に 単独で 八学大 来年の新生から

八学大（小林興学長）は26日、人間健康学科（定員100人）が22日付で小学校教員養成課程の認定を受けたと発表した。2026年の新生から、小学校教諭2種免許が取得できる。小学校の免許は同大の短期大学部で玉川大（東京）と連携した通信教育課程での取得が可能だったが、単一教育機関での養成課程設置は青森県南地方初となる。

小学校教員の養成課程開設は教育学部などでのみ可能で、文科省は23年9月に

中学校の養成課程を持つ大学でも可能とする特例を追加。同科で中学の課程を有していた八学大は今回、この特例に認められた。同科は来年4月、人間健康科学科に改称する。

新生が小学校免許を得るには中学校免許の課程に加え、国語と算数などの各教科指導法に関する6単位を取る必要がある。

同大で会見した小林学長

は「体育教育」という強みを生かし、肥満傾向にある県内児童の健康増進につなげられる」と説明。その上で「地方の大学は厳しい環境に置かれている。（小学校教員の養成で）地域との連携を深めるといふ大学としてのメッセージを発信できる」と強調した。

市内の小学校で教育実習を受け入れる市教委の齋藤信哉教育長は「小学校教員

は加速度的に減少している。身近で免許が取得できれば教員の増加につながるのでは」と期待感を示した。

同大は今回の課程設置に当たり、県内外の大学などから指導者の派遣を受ける。同科の在学は現時点で対象外。短期大学部の通信課程の学生も含め、新設した課程の対象に含められるか、文科省に相談しているといる。

（桑田友入）



小学校教員養成課程の新設について説明する小林興学長（中央）。右は齋藤信哉教育長。26日、八学大